

信書便 認知向上目指す 協会の伊東会長ら来社

信書便事業者協会の伊東博会長＝写真前列中央＝らは3日、沖縄タイムス社を訪問し、「信書便はまだ一般的になじみが薄い。信書とは何かを国民に理解してもらい、安心・安全を可視化させ信頼を得たい」と述べ、認知度向上や事業者のレベル向上、法令順守(コンプライアンス)の徹底に取り組む姿勢を示した。



協会は2日、那覇市内で視察会を実施。利用者の視点に立った信書便市場の活性化などについて意見交換した。東京女子大の竹内健蔵教授は、「国民に使ってもらえるサービスにしなければならない」と指摘した。